



「ありがとう」坂野中学校 「すごいぞ」坂野中学校

元教職員 吉原稔祐

平成7年4月に母校坂野中学校に赴任することができました。それから平成17年度までの11年間、その後また平成20年から6年間、計17年間、坂野中学校にお世話になりました。教員生活の半分以上を坂野中学校で勤務できたことに感謝しています。

1 「ありがとう」坂野中学校

岡崎能治前校長は「校舎はボロでも、生徒はピカイチ」と、よく言っていたことを思い出します。校舎は古くても、子どもたち常に輝いていました。

この古い校舎の修繕が大変で、他の学校ではなかなか経験できません。ドアが外れた、窓が閉まらない等は日常茶飯事で、仲間の教員とともに楽しんで修繕しました。思い起こせば、私が赴任早々にしたことは、剥がれたPタイル修繕と落書きを消すためのペンキ塗りでした。これらの修繕作業を通じて、「チーム坂中」としてのまとまりができたように思います。大雨の度に、音楽室からは雨漏りの音でメロディーを奏でていましたし、何度直しても壊れる屋上への入り口のドアもありました。一度開けると、なかなか閉まらない教室の窓、インフルエンザが流行しても換気する必要がないぐらい隙間だらけの教室、どれもこれも懐かしい思い出です。私を育ててくれた坂野中学校の古い校舎に、本当に「ありがとう」、そして「お疲れ様」と言いたいです。

2 「すごいぞ」坂野中学校

私は平成12年度から14年度の3年間、ハンガリーのブダペスト補習校(現日本人学校)で勤務しました。当時はまだ日本人約800人足らずのコミュニティでしたので、この地で坂野中学校出身者と出会うことなんて本当の奇跡です。

実はそれが現実には起こりました。補習授業校での仕事の一つが、学校で教える先生を見つけ雇うことでした。急な退職者が出て困り果てていた時に、青年海外協力隊の日本語教師として勤務していた佐々木弥生さんという方が手伝ってくれることになりました。面談をすると、何と佐々木弥生さんは第40回坂野中学校の卒業生でした。そしてさらにリスト音楽院で学ぶ山本貴子さん(徳島で活躍するピアニスト)も坂野中学校の卒業生でした。何と、日本人約800人の東ヨーロッパの町に、坂野中学校の卒業生が3人もいることに感動しました。

よく3人でブダペストで「坂野中同窓会」をしたことが懐かしく思い出します。

「すごいぞ」坂野中学校